

1 (1)ひらがな 4 字指定

(1)	つ	ゆ	あ	け	(2)①	ア	②	イ	(3)①	3	枚	②	5	枚
-----	---	---	---	---	------	---	---	---	------	---	---	---	---	---

2

(1)	え	(2)	い	(3)	う	(4)	え
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

3 (4)24 時制指定 (8)完答

(1)	イ	(2)①	ア	②	ア	(3)	エ	(4)	11	時	56	分
-----	---	------	---	---	---	-----	---	-----	----	---	----	---

(5)	11	時間	26	分	(6)	ア	(7)①	X	北	Y	東	②	地点	C
-----	----	----	----	---	-----	---	------	---	---	---	---	---	----	---

(8)	A:	イ	B:	ウ
-----	----	---	----	---

4

(1)①	ア	②	イ	③	ア	(2)①	92	度	②	45	度	③	55	度
------	---	---	---	---	---	------	----	---	---	----	---	---	----	---

(3)①	X	②	Y
------	---	---	---

5 (1)①カタカナ指定 (2)①~③各順不同完答

(1)①	アンペア	②	ウ	③	ア	④	ウ	⑤	キ
------	------	---	---	---	---	---	---	---	---

(2)①	ア, イ, ウ, エ	②	イ, ウ, エ	③	イ, ウ, エ
------	------------	---	---------	---	---------

[配点] 1~4 : 各 3 点 × 28 = 84 点  
5 : 各 2 点 × 8 = 16 点 (合計) 100 点

1

- (3)① 葉と葉の間の角度が360度の倍数になったとき、葉が重なる。 $360 \text{度} \div 120 \text{度} = 3$ 枚あととなる。  
 ②  $360 \text{度}$ と $144 \text{度}$ の最小公倍数が $720 \text{度}$ で、 $720 \text{度} \div 144 \text{度} = 5$ 枚あととなり、葉が重なることが分かる。

3

- (3) 地球は地軸を一定の方向へかたむけたまま、太陽のまわりを公転している。  
 (4)  $(6 \text{時} 13 \text{分} + 17 \text{時} 39 \text{分}) \div 2 = 11 \text{時} 56 \text{分}$   
 (5)  $17 \text{時} 39 \text{分} - 6 \text{時} 13 \text{分} = 11 \text{時間} 26 \text{分}$   
 (6) 昼の長さを調べる。

	A
1日	11時間26分
21日	12時間10分

すべての地点において21日の昼の長さが約12時間で、1日から21日にかけて昼の長さが長くなっているため、3月である。

- (7)① 12時ごろにできるかげは、北の方角を指す。北を向いたときの右側が東となる。  
 ② 南中時刻を調べる。

	A	B	C
1日	11時56分	12時31分	11時47分

12時のかげが最も東側にできるのは、12時の太陽が最も西側にある地点である。

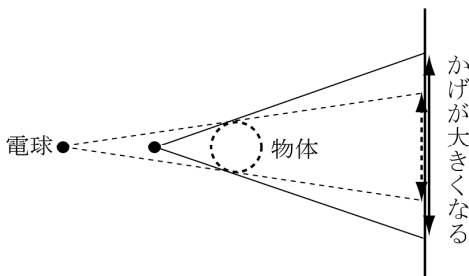
よって、南中時刻が最も早い地点Cを選ぶ。

- (8) (7)②の解説の表より、南中時刻が早い順にならべるとC→A→Bとなる。東の地点ほど南中時刻が早くなるので、C札幌→A名古屋→B福岡である。

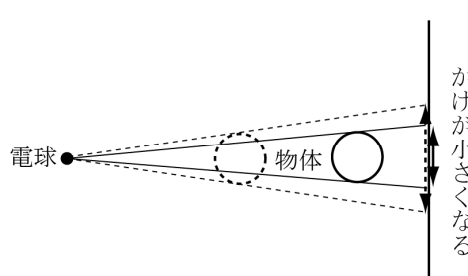
4

- (1) それぞれ作図して考える。

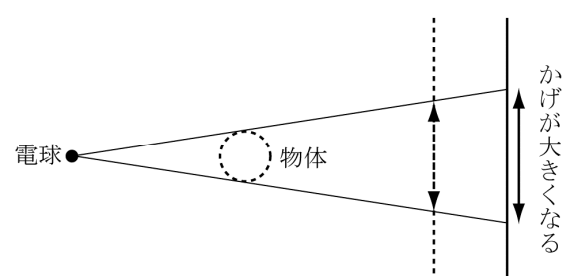
①



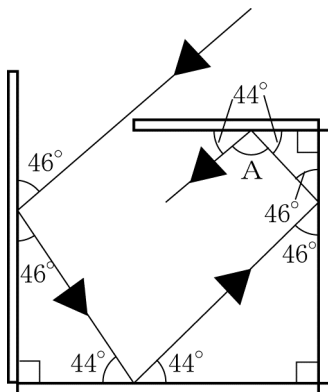
②



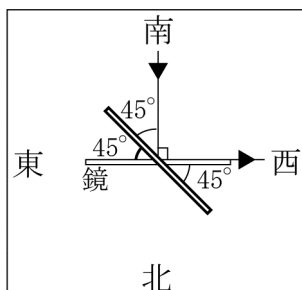
③



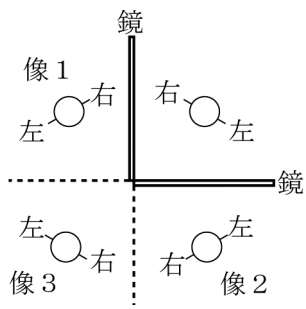
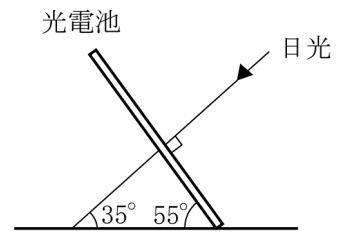
- (2)① 次の図のように書きこんで考える。 $180 \text{度} - 44 \text{度} \times 2 = 92 \text{度}$



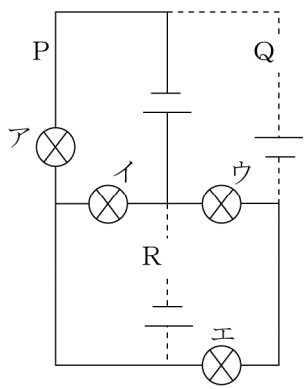
- ② 次の図のように書きこんで考える。



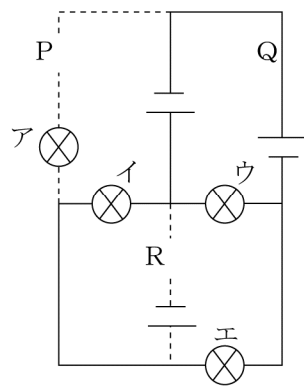
4  
 (2)③ 右の図のように、日光と光電池が直角に交わる時、最も効率良く日光が光電池にあたる。  
 (3)②



5  
 (2)①



②



③

